



コロナ危機と時間学



～新型コロナウイルス感染症と私たちの過去・現在・未来～

山口大学研究プロジェクト「コロナ危機と時間学」では分野間交流を通して議論を行い、そこで得られた知見や意見を自身の研究に還元することで研究の促進や新しい展開がされることを期待しています。そこで、積極的に交流を図るためワークショップを実施しています。4月に開催した第1回目では様々な意見が交わされました。続いて、下記のとおり第2回目を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

第2回 ワークショップ

日時:2023年6月27日(火)13時00分～16時00分

会場:山口大学吉田キャンパス大学会館会議室

対象者:山口大学学内者および本プロジェクト共同研究者

事前申込:不要

プログラム

時間	氏名	所属	研究課題名
13:00-14:00	足立 亮介	大学院創成科学研究科	感染症数理モデルの解析に基づく公衆衛生技術の創出 ～システム理論による経験(過去)の統合と未来の構築を目指して～
14:00-15:00	森 朋也	教育学部	「西の小京都」の歴史的継承と未来への創造:コロナ禍における地域社会の持続可能性
15:00-16:00	浜島 清史	東アジア研究科	コロナ禍における労働時間等の変容—過去・現在・未来—ならびに社会制度・組織に関するアンケート調査研究

コロナ危機と時間学 HP



http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp/?page_id=3042

問合せ先
山口大学時間学研究所 事務室
Mail:sh076@yamaguchi-u.ac.jp
Tel:083-933-5848